



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 星 行夫
幹事 吉野 彰芳
SAA 佐藤 政司
会報小委員長 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2907 回 例会 令和 4 年 8 月 3 日 (水・晴)

2022 - 23 年国際ロータリーのテーマ
イマジン ロータリー

ゲスト

双葉町 副町長 平岩 邦弘 様

◎会長挨拶—星 行夫会長



皆さん、こんにちは。まずは、新型コロナの話です。いわき市の感染者は昨日も 300 名を超えて、大変な感染者数となっています。このまま、例会を開催して良いのか、悩んでしまいます。そのため、開催の有無について、例会後の理事会で協議したいと思います。先週、ガバナー補佐に市内の他のクラブの開催状況をお聞きしました。その結果、常磐、内郷、平中央、平東、小名浜の各ロータリークラブは行動制限が発出されるまでは、例会を開催するようです。(多分ハイブリット形式と思います。)桜 RC も行動制限が出れば Line にするそうです。私は個人的には当クラブも行動制限が出るまではこの形で開催したいと思っていましたが、これだけ多くなると再考する必要があると感じています。コロナの感染状況が厳しいため、2530 地区で予定されていた研修等の行事も延期となっています。例えば、地区・クラブ規定委員会セミナー、米山記念奨学生による体験発表会等です。その中で RLI パート I の開催が 8/28(日)に予定されています。回覧物を見てください。大変勉強となるセミナーですので、是非ご参加をご検討ください。当クラブでも、7/29 に委員長・小委員長の会議を予定していましたが、感染状況を踏まえて延期とさせていただきます。各委員長・小委員長の皆様におかれましては、計画に沿って活動を進めていただきますようお願い

いたします。さて本日は外部卓話として双葉町副町長の平岩邦弘様をお迎えしました。双葉町と当ロータリークラブは色々な面でつながりがあります。平岩様からは、「双葉町の復興に向けた取り組み」と題して、興味深いお話があると思います。宜しくお願

君が代

—今月は会員増強・
新クラブ結成推進月間です—
ロータリーの目的
星 行夫 会長

いたします。さて本日は外部卓話として双葉町副町長の平岩邦弘様をお迎えしました。双葉町と当ロータリークラブは色々な面でつながりがあります。平岩様からは、「双葉町の復興に向けた取り組み」と題して、興味深いお話があると思います。宜しくお願

◎幹事報告—吉野彰芳幹事



・いわき平ロータリークラブより週報及び年次計画書が届いています。
・国際ロータリーガバナー事務所よりロータリー財団活性化ワークショップ延期のお知らせ、地区資金取扱い、地区運営規定改定報告が届いています。

- ・R I 日本事務局より財団ニュースが届いています。
- ・なこそ授産所さんより暑中お見舞いのハガキが届いています。
- ・なこそ夏まつり実行委員会より協賛のお願いが届いています。
- ・岡崎南ロータリークラブより週報が届いています。
- ・いわき平ロータリークラブ、いわき平中央ロータリークラブ、いわき平東ロータリークラブより 8 月のプログラムが届いています。
- ・米山記念奨学会より 2022 - 23 セミナー開催のご案内が届いています。
- ・国際ロータリーガバナー事務所よりロータリーリーダーシップ研究会第 5 期パート I の開催案内が届

出席状況	正会員数 本日出席会員数	36 名 26 名	カード出席 本日の修正出席率	0 名 72.22 %
------	-----------------	--------------	-------------------	----------------

いています。

・7月31日の福島民報紙に木幡会員のインタビュー記事が大きく掲載されておりましたので回覧します。

◎各委員会報告

◇出席委員会

—湯目 浩小委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。



◇スマイルボックス委員会—柏原達之小委員長



・平岩双葉町副町長を歓迎して。星会長、林副会長、斉藤会長エレクト、吉野(彰)幹事、鈴木(敏)副幹事、高萩、根本、大平、木村(博)、木幡、影山、荒川、吉野(嘉)、柏原、嵐、木村(義)、佐藤(政)、湯目、鈴木(修)、渡邊公平パストガバナー各会員

・誕生祝ありがとうございました。

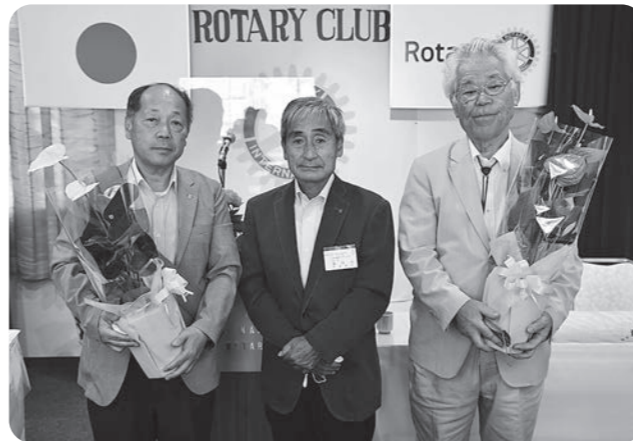
川口、佐藤(政)各会員

・本日早退ごめんないさい。鈴木(雅)、小澤各会員

◇親睦活動委員会—吉野嘉晃小委員長



皆さん、こんにちは。親睦活動委員会よりご報告致します。今月誕生月の会員へ誕生祝を差し上げたいと思います。名前を呼びますので前の方へどうぞ。川口会員、佐藤政司 S A A、柴山会員おめでとうございます。



◎外部卓話

双葉町の復興に向けた取り組み



双葉町副町長 平岩 邦弘 様
東日本大震災と原子力災害から 11 年 5 か月、そして双葉町が埼玉県加須市からいわき市東田町に役場機能を置いて 9 年 2 か月になります。これまでの間、いわき市の皆様には物心両面の温かいご支援を賜っておりますこと、心より感謝

を申し上げます。さて、双葉町は、平成 29 年 9 月に双葉町特定復興再生拠点区域復興再生計画が国の認定を受け、帰還困難区域内の双葉駅を中心とする区域、約 555ha を特定復興再生拠点区域に設定し、5 年以内の避難指示解除と住民の居住を可能とするための除染、建物解体、インフラ復旧などの生活環境整備を進めてまいりました。その結果、双葉町放射線量等検証委員会により放射線量の十分な低減が確認され、日常生活に必要なインフラや生活関連サービスが概ね復旧し、除染作業が十分に進捗したと判断されたことから、県内外 11 か所で開催した住民説明会での意見を踏まえ、国、県との避難指示解除に向けた協議において、8 月 30 日午前 0 時に特定復興再生拠点区域の避難指示解除が決定し、住民帰還が始まることになりました。双葉町では、令和 2 年 3 月に先行して避難指示解除した「働く拠点」である中野地区復興産業拠点に 20 件 24 社の企業進出が決定し、現在 13 社が操業しています。また、JR 双葉駅西側に、町に帰還を希望する住民や町内で働く就労者の受け皿となる「住む拠点」の第一期分として災害公営住宅と再生賃貸住宅 86 戸を整備しています。このうち本年 10 月には 25 戸が完成し入居が始まる見込みです。また、JR 双葉駅東側には新庁舎が完成し、8 月 27 日開庁、9 月 5 日から業務を開始します。現在のいわき事務所は、いわき支所として住民窓口や生活支援、健康相談などの業務を行います。なお、特定復興再生拠点区域外については、昨年 8 月に「2020 年代をかけて、帰還意向のある住民が帰還できるよう、避難指示解除の取り組みを進める」という政府方針が示されました。町ではあくまでも帰還困難区域全域の避難指示解除を求めています。まずは、避難指示解除に向けた第一歩として、国と連携して住民の帰還意向の確認を進めてまいります。双葉町の復興はようやくおおきな第一歩を踏み出したところであり、今後も皆様のご支援をいただきながら引き続き取り組んでまいります。

